**授業プラン（消費者の権利と責任）**

京都府消費生活安全センター

＜学習のねらい＞・消費者の権利と責任について理解できる。

・消費者の権利と責任にあてはまる場面を考え、自分の消費行動を工夫できる。

＜内　　　容＞消費者の権利と責任について考えよう（教科書※１P200～P201、P206～P207）

※１　東京書籍「新しい技術・家庭　家庭分野」を使用

＜対　　　象＞　　２～３年生が望ましい

＜資料・教材＞・「消費者の権利と責任（動画）」（京都府消費生活安全センター）

・「小学生・中学生・高校生の消費生活相談概要」

（京都府消費生活安全センター）

・「中学生に多い消費生活相談事例」（京都府消費生活安全センター）

・ワークシート「消費者の権利と責任①、②」（京都府消費生活安全センター）

**スケジュール※２　　※２　このスケジュールを進める際には、「購入方法や支払い方法」及び「消費者トラブルとその対策」を学習しておくことが望ましい。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時　間** | **内　　　容** | **準備・その他** |
| 導入 (８分) | ○前回授業の復習○本時の説明○動画「消費者の権利と責任」① | ・「小学生・中学生・高校生の消費生活相談概要」・「消費者の権利と責任」（動画）① |
| 展開１(10分) | ○消費者の権利と責任について考えようⅠ・教科書を参考に、８つの権利と５つの責任について考える | 教科書P200～P201・ワークシート①※３ |
| 展開２(20分) | ○消費者の権利と責任について考えようⅡ（グループワーク）・京都府の消費者トラブル事例から、消費者トラブル事例を場面に分けて、どの場面でどのような消費者の権利と責任が関わっているのかを考える。・各場面の行動について、どのようなことに気を付ければ、トラブルにならないのか、また、消費者の責任を果たすことができるのかを考える。 | 教科書P200～P201・「中学生に多い消費生活相談事例」・ワークシート②※3※３　ワークシートは使いやすいように自由に加工してご利用ください |
| 展開３( 10分) | ○消費者トラブルにあわないために・展開２を踏まえて、消費者トラブルにあわないために、どうしたらよいのかを考える・消費者の権利と責任について分かったことを共有する | 教科書P206～P207・ワークシート② |
| まとめ( ２分)  | ○消費者市民社会について・消費者市民社会の形成に繋がることを理解する。 |  |